

第 18 回議会報告会報告書

令和 4 年 8 月

広聴広報委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第18回目の開催となった。

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響下の中において、万全な感染対策を施し、対面式とオンライン式のハイブリッド開催とした。コロナ禍においても若い世代の参加促進など、感染症拡大防止に配慮しつつ市民との繋がりを大切にし、市民の意見を聞く貴重な場としての役割を担うべく取り組んだ。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目 次

はじめに	1
1 第18回議会報告会実施概要	2
2 主な意見及び要望	5
3 考察	11
4 資料	12

1 第18回議会報告会実施概要

実施体制について

- 対面式の開催とし、黒磯地区、西那須野地区、塩原地区で各1回の開催とした。新型コロナウイルス感染症対策も考慮し、Zoomを使用したオンラインでの参加も可能とした、ハイブリット方式を初めて採用した。
- 質疑応答を円滑に対応できるよう、常任委員会委員を各班に均等に割り振った3班体制で実施した。

広報活動について

- 市議会 Facebook による周知
- 市の公式ホームページによる周知
- チラシの班回覧及び公共施設等配布
- 各議員による周知

内容について

全体の構成について

- 議会報告会の内容は2部構成で実施した。
- 第1部の議会報告は、定例会議報告、特別委員会報告を行い、質疑応答を行った。
- 第2部の意見交換は、班ごとにテーマを設定して実施した。

会場の設定及び参加者数について

会場設定について

- 広聴広報委員会において、市内3地区(黒磯地区、西那須野地区、塩原地区)での開催とし、新型コロナウイルス感染症対策及びオンラインでも開催する点を踏まえ、広い会場であり、Wi-Fi環境が整っている公民館を選定した。

参加者数について

○合計 38 名となった。

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66

	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	第 17 回	第 18 回
開催年月	H30.5	H30.11	R 元.6	R 元.11	R2.2	R2.7.17~9.30	R2.11	R3.11	R4.5
参加者数	66	78	23	70	152	※72	29	97	38

各班の実施状況

1 班

開催日時	令和 4 年 5 月 1 4 日（土）午後 2 時 0 0 分～午後 4 時 0 0 分			
会場	黒磯公民館			
参加人数	1 2 人 （男性 8 人 女性 4 人）			
担当議員	班長	林 美幸	進行役	林 美幸
	司会者	鈴木 秀信	報告者（議会）	中村 芳隆
	報告者（総合計画）	佐藤 一則	報告者（庁舎）	齊藤 誠之
	報告者（活性化）	山形 紀弘	オンライン	齊藤 誠之
	記録者	平山 武	記録者	堤 正明
	記録者	三本木 直人	記録者	鈴木 秀信
意見交換テーマ	新しい公民館のあり方～分散型社会による利便性の向上他～			

2 班

開催日時	令和4年5月21日（土）午後1時30分～午後3時30分			
会場	ハロープラザ			
参加人数	13人（男性13人 女性3人）うちオンライン1名			
担当議員	班長	小島 耕一	進行役	小島 耕一
	司会者	齋藤 寿一	報告者（議会）	山本はるひ
	報告者（総合計画）	相馬 剛	報告者（庁舎）	眞壁 俊郎
	報告者（活性化）	星野 健二	オンライン	中里 康寛
	記録者	星野 健二	記録者	室井 孝幸
意見交換テーマ	・分散型社会について ・廃校利用について			

3 班

開催日時	令和4年5月29日（日）午後2時～午後4時			
会場	大山公民館			
参加人数	13人（男性5人 女性8人）うちオンライン2人			
担当議員	班長	森本 彰伸	進行役	星 宏子
	司会者	益子 丈弘	報告者（議会）	鈴木 伸彦
	報告者（総合計画）	松田 寛人	報告者（庁舎）	田村 正宏
	報告者（活性化）	金子 哲也	オンライン	大野 恭男
	記録者	森本 彰伸	記録者	玉野 宏
意見交換テーマ	子育て環境について			

2 主な意見及び要望

議会報告について

定例会議審議結果

①「自治会活動の促進に関する条例」が制定されたが、どのような効果を期待しているか。

→自治会の加入率が 60%前後と伸びていない。条例の制定により、少しでも自治会への理解を深め、加入の促進になればと期待している。

②学校教育のデジタル化のところで I C T 機器を整えたが、経年劣化のため国の方針に沿った教育が一部困難になっているということだが、その他に I C T 教育の中で国の方針に沿っていないことがあれば教えてほしい。

→ I C T タブレット端末を利用した授業で、大規模校 300 名以上が一斉に使用すると、通信ができなくなるという問題がある。国の方針として「いつでも・どこでも」ができないということだ。学校としては、そうならないよう使用制限をしている。

③ ②については、今後、計画的に更新していくことはないか。

→市の財政上難しいが、国の補助の増額あれば改善の余地はある。

④「自治会活動の促進に関する条例」の市の役割について、人口減少は地域によって違いがある。国道 4 号線や東北本線沿線は多いが、そこから離れる程減少している。転入時に市から「自治会に入って下さい」と言って貰えないか。

→本条例は理念条例であり、市でお願いはしているが強制はできない。

⑤自治会振興費補助金が使いつらいので、補助金ではなく、交付金にしてほしい。

総合計画審査特別委員会

①気候変動対策（那須野が原グリーンプロジェクト）で地域の再生可能エネルギーの活用といわれているが、太陽光発電、那須疏水を利用した水力発電等とあるが、私たちの使っているエネルギーをカバーできるのかという心配がある。再生可能エネルギーについて考えていることがあれば教えてほしい。

→2050年ゼロカーボンを目指す。自然エネルギー、温泉、バイオなど技術革新が追いつけば、自前の発電できるものは新電力として買い取って市民に流していく。これまで外に出してきたエネルギーを地域内循環させるよう方向転換していく。

- ②太陽光、風力、水力発電とかやれることは徹底的にやって那須塩原市は脱カーボン地域の全国の先駆けとなってほしい。

庁舎建設検討特別委員会

- ①素晴らしい庁舎ができてそこで働く職員がどれだけ生き生き働くかが重要。今の庁舎で暗い中で昼食をとる姿は異様。新庁舎では職員が昼食を取る場所を確保するか、明るい中で昼食が取れるようにしてあげてほしい。

- ②新庁舎についてまちづくりビジョンを市民とともに作っていこうとワークショップを開くとY o u T u b e で流していたが、未だに開かれていない。意見交換会やワークショップを開く予定はあるか。

→令和4年度、市長はまちづくりの開発と新庁舎を一体的にやると言っている。その策定案を業者に委託している。案が出てきた後、市のビジョンを出してくるので、そこから市民とのワークショップが始まるのではないか。

- ③那須塩原駅前の開発について、有識者会議に市民は入っているのか。

→市民は入っていない、まずは大枠を考えて、その後市民の意見を聞いていく。

- ④分散型構想について統合・分庁・分散など文章だけではわかりにくい。

→統合は本庁舎に市役所機能を集中する方式、分庁は現在の本庁舎、西那須野支所、塩原支所のように地域ごとに機能を持たせる方式、分散はその他、15ある公設公民館にも市役所の一部の機能を持たせる方式をいう。

議会活性化特別委員会

- ①前回の市議選の投票率が5%ほど落ち、立候補者数も6名ぐらい減った。今後投票率のアップとか立候補者数の増加を見込んだ場合、現在取り組んでいること、あるいは取り組む予定があれば教えてほしい。

→女性の方が活躍できるような対応をしなければならない。期日前投票所をもっと増やそう。共通投票券を発行し、どこでも投票できるシステムを作るなど提言書を提出している。

- ②地域ごとに投票率のばらつきがある。分散型社会という動きもあるので、そういうところも議論してほしい。

- ③報告内容を文書やパワーポイントを使って回答してほしい。

→次回から改善していきたい。

④議会活性化のテーマについて目標を立てて検証しているのか。

→常に目標を立てて検証を行っている。

班別テーマについて

1 班 新しい公民館のあり方

- ・ 公民館まつり、フリーマーケットなどのイベントを行う。
- ・ 学校連携ワークショップを行う。違う学校の生徒を一堂に集めて、このまちをどうするか話し合う。
- ・ 企業の説明会を公民館で行う。
- ・ 公民館で若い人を見たことがない。若い人が興味を持つ講座の開催。
- ・ 公民館でワーケーションやテレワークをする。
- ・ イベントの広報をツイッターやInstagramで行う。
- ・ 公民館の広いスペースを子どもの居場所づくりに活用する。
- ・ 子ども食堂を公民館に開設し、敷地内に畑を作り、収穫した野菜を食材に使う。
- ・ 公民館が市役所の機能の一部を果たす。
- ・ 公民館の視聴覚機器が充実していない。
- ・ 自治会長の仕事に印刷機を貸してくれない公民館がある等公民館のサービスに温度差がある。
- ・ 助っ人制度を公民館でやってほしい。
- ・ 地域住民助け合い事業の窓口をやってほしい。
- ・ 市民サービスセンターを設置する。
- ・ 防災避難機能を持たせる。
- ・ 公民館を民営化する。（現在は規制が多い。）
- ・ コーディネーターを育てる。
- ・ サードプレイス、市民が集まれる場所とする。

2 班 分散型社会について

公民館の利用について

- ・国の手続き等もできるようにして欲しい。
- ・様々な行政手続きが受けられると良い。
- ・手続き以外にも ATM の設置、レンタサイクルが出来たり駄菓子を買えたり、子ども遊べる場所や子ども食堂があれば良い。
- ・道の駅のような買い物ができる場所が欲しい。
- ・子ども達と高齢者の交流の場にして欲しい。
- ・海外からの移住者に対応できる人材の育成と配置が必要。
- ・何が制限されていて、何が解除になっているかが分かりにくい。
- ・公民館でテレワークやワーケーションが行えるようにして欲しい。
- ・屋外に AED を設置して欲しい。
- ・災害時の食料品の備蓄、燃料と発電機等の設置が必要。
- ・非常時のプライバシーの確保。非常用電源確保。
- ・24 時間利用可能な施設が欲しい。
- ・行政のオンラインによる分散が必要。
- ・若い人の力を使って地域を活性化させていくべき。
- ・学生がもっと地域に参加し、街に愛着が持てるようになれば地方に移住するのではないか。

2 班 廃校利用について

廃校の活用法

- ・アート製作所。美術館。テレワーク会場。養魚場。
- ・宿泊施設。野菜加工所。オートキャンプ場。カフェ。
- ・屋上への太陽光パネル設置。体育館のライブ会場化。
- ・企業とスーパーの誘致。ネットでの物件紹介。
- ・公民館の補完施設。防音をしっかりと音楽施設。役所の分庁舎。地域の方々が集まりやすいサロン。
- ・塩谷の星降る学校のような宿泊施設。テレワークセンター。企業の本社誘致。陶芸や木工加工所。社会教育施設。
- ・地元の人の雇用と地域交流の場としてショッピングモール。
- ・子供の教育を兼ねた職業訓練体験の場。

- ・ カウンセリングを兼ねた子育て相談の場。
- ・ 小さな家的な子どもの遊び場。
- ・ 小学生から高齢者まで職業が選択できる職業訓練の場。
- ・ テレワークが出来る住居的な施設。

3 班 子育て環境について

【問題提起】

- ・ 総合病院が少ない。
- ・ 学童が足りていない。
- ・ シングルファザーへの支援がない。
- ・ 交通の便が悪く子どもの部活動がままならない。
- ・ 障害者の子どもたちは特にサポートが必要。
- ・ ゆーバスの路線変更で、保護者の送り迎えの負担が増えた。（那須支援学校）
- ・ 歩道がない道が多い。
- ・ 那須支援学校の寄宿舎が閉鎖になったあとの学習保障が心配。
- ・ 障害児の医療費が高額になるので、一時払いでも大変なので、窓口無料にならないか。
- ・ 4号線のバイパスができることで、周辺地域の安全確保が課題である。（三島地区）
- ・ JRや331号線周辺でも迂回や抜け道などでは交通安全が課題である。
- ・ 子どもの居場所が少ない。
- ・ 子どもたちが外で遊んでいる声が聞こえない。
- ・ 大山小学校や三島小学校では児童が多くて学校施設・学童保育などが足りないのではないか。
- ・ 高林では子供が少なくて三島や大山がうらやましい。
- ・ 高林は移住者が多く、それぞれに対応が必要。
- ・ 不審者情報を小学校のメールで受け取ることがある。もっと防犯を。
- ・ 女性が産休後に職場復帰が難しい空気感。この事で子どもを産まなくてもいいや、という気持ちになってしまう。
- ・ 核家族化で母親だけが子育てすることで『うつ』状態になってしまう。
- ・ 休みが取りづらい→当事者しかわからない→要望や意思を共有できる環境下に仕掛けて行って欲しい。
- ・ 子ども産むことは自己責任という目線を感じる。
- ・ 認定こども園など事業者の幅を拡げてほしい。
- ・ バリエーションで選択できる事業者が少ない。
- ・ 入園年齢が決められていて入所できにくい。

- ・入園する（規制、規則）決まり事が厳しいので緩和が必要。
- ・子どもを産み育てるのに経済的に厳しい現実。

【解決策】

- ・児童館・保育園等、モチベーションを上げるために給与を上げるべきである。
- ・市の子育て関連の予算を倍増する。他市で事例もあり、人口増にもつながっている。
- ・給食費を無料化する。
- ・教育予算を増やすべき。
- ・子どもが増えれば社会にとってもプラスだと感じてもらう政策が必要だと思う。
- ・夫婦で仕事を休め、子どもの成長を見守れる期間を社会で支える取組を創ってほしい。
- ・出産時の無痛分娩や子どもを1人ごとに支援を拡充してほしい（返還しない支援金など）
- ・既存のシステムを見直し、抜本的に変えること必要。
- ・婚姻前から子どもとの暮らし実生活を想定した学べる仕組み。
- ・早い段階から子どもを産める期間を社会で支える取組(学べる機会を拡充、年齢ステージごとの詳細な学び)
- ・子ども目線での提案。今までの生活で感じたこと、あったらいいなと思うこと。
 - ① 子どもの視点から制度を判断、評価するシステムが必要である。
 - ② 学びの選択肢を子ども達の手でつくる環境。(自主的に)
 - ③ 自己啓発力をつけることで(啓発力向上を学べる環境が少ない)学校の価値もあがると思う。
 - ④ テスト順位は必要なのか。テーマを与え、多角的に解答は各々に任せ、その考え方を評価してほしい。

交通安全・防犯

- ・地域住民によるパトロール。
- ・地域ごとにできることは違うので、まずは地域で話し合い、地域で出来ることを探す。

子どもの居場所

- ・3世帯の家族が理想である。
- ・地域の高齢者が若い世代を助けるべきである。
- ・学童保育のキャパを増やす。
- ・児童館の創設（自由に子どもたちが遊べる場）。
- ・地域住民が学校とつながるべき。
- ・高林寺の駄菓子屋は素晴らしい、地域にあった工夫が必要。
- ・地域ごとの素材を活かす。
- ・子どもたちは愛情が欲しい。シグナルを出させてあげることが必要。

その他（共通）

- ・議員はもっと執行部に物を言うべき。

- ・市の職員も声を上げてアイデアを出すべき。
- ・人間力を鍛える仕組みが重要だと思う。

3 考察

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、議会報告と意見交換を対面式と Web 会議システム Zoom を活用し、3 班体制で各 1 回実施した。

市民への周知については、ポスター、チラシを作成し回覧版での配布をはじめ、各議員からの呼びかけ、市議会ホームページや本市のメール配信サービス、Facebook 等、SNS などを使って周知をした。参加者数については、全体で 38 名の参加をいただいた。しかしながら、参加者数の伸び悩みについては、このイベントが難しく感じている。または、従来型の開催内容（議会報告と意見交換の 2 部構成）に飽きているものと推測するところである。

意見交換については、各班でテーマを設定し、意見交換を実施した。7 割の参加者からは、「ある程度満足」との回答が得られた。

今回の意見交換で得られた意見・要望等については、各議員で政策提言などに活用していただきたい。

今回においても、コロナ禍であったが議会活動を市民に説明する責務を果たし、充実した意見交換が開催できた。関係各位に感謝を申し上げて考察とする。

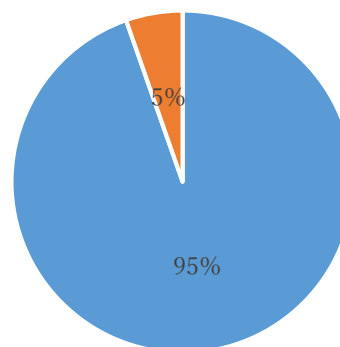
4 資料

アンケート結果

○アンケート回収数 32 枚

問1 那須塩原市にお住まいですか。

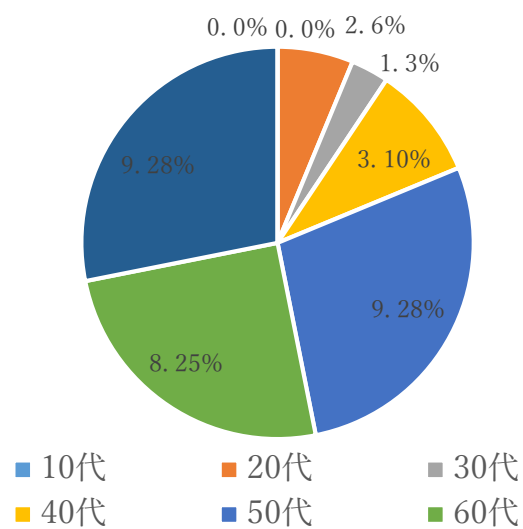
はい	29
いいえ	3



■ はい ■ いいえ

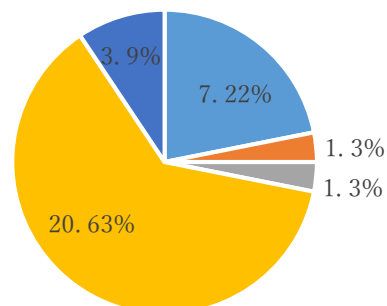
問2 年齢についてお答えください

10代	0
20代	2
30代	1
40代	3
50代	9
60代	8
70代	9
80代以上	0



問3 なしおふれあいトークは何でお知りになりましたか

班回覧チラシ	7
ポスター	1
ホームページ	1
議員・知人からの紹介	20
その他	3



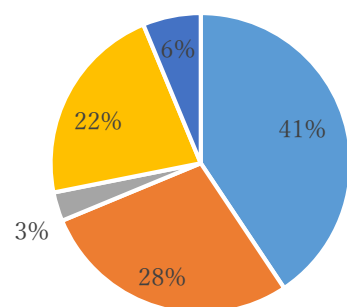
○その他の内容

- LINE

- 各戸配布チラシ
- ポスター
- ホームページ
- 議員・知人からの紹介
- その他

問4 本日参加された理由をお聞かせください。

テーマに興味があったから	13
知人・友人から誘われたから	9
会場が近かったから	1
議会に興味があるから	7
その他	2



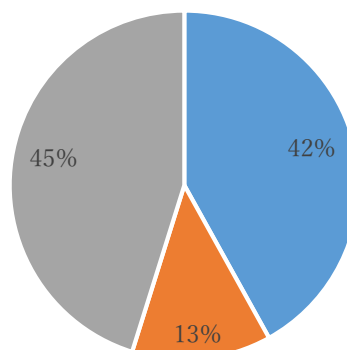
○その他の内容

- 時間が合ったため
- 地域づくりを考えているため

- テーマに興味があったから
- 知人・友人から誘われたから
- 会場が近かったから
- 議会に興味があるから
- その他

問5 議会報告（定例会・特別委員会報告）の内容についてお尋ねします。

わかりやすかった	1 3
わかりにくかった	4
どちらともいえない	1 4



○わかりやすかった理由

- 議員はよく勉強している。

○わかりにくかった理由

- 特別委員会の資料がほしかった。
- ただ読んでいるだけ。資料に不足がある。
- 説明不足は資料で補う。

○どちらともいえない理由

- 時間が短い。
- 報告時間では、単なる説明で終わる。
- 短時間なので、だよりを見れば内容が分かった。
- 国レベルのことを市議会で行っている。市民のための議会をやってほしい。
- まあまあ。
- 資料が用意されていないものがある。
- 説明の内容は分かりやすいが、資料があると聞きやすいです。
- 簡単な説明なので。

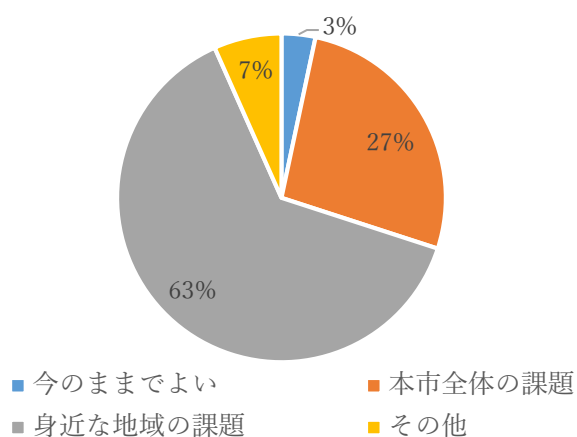
■ わかりやすかった

■ わかりにくかった

■ どちらともいえない

問6 議会報告にはどのような内容を希望しますか。

今のままでよい	1
本市全体の課題	8
身近な地域の課題	19
その他	2

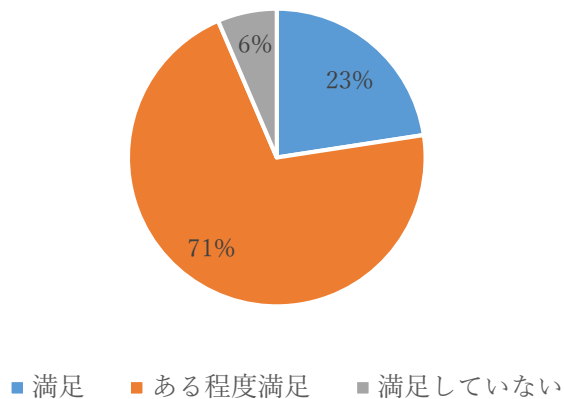


○その他の内容

- 議会の内容より、むしろ多数の市民参加手法を検討すべき。
- 福祉や子どもの置かれている環境。

問7 意見交換会についてお尋ねします。

満足	7
ある程度満足	22
満足していない	2



○満足した理由

- メンバーがよかったので、話がしやすかった。山形議員の司会もよかった。
- いろいろな方のご意見を聞いて、初めて知った情報、新たな問題にも気づけました。
- たくさんの意見が聞けて良かった。

○ある程度満足した理由

- 様々な方の意見が拝聴できた。
- 初めての参加で勉強になった。
- もう少し時間があると、皆さんの意見をしっかり聞くことができる。

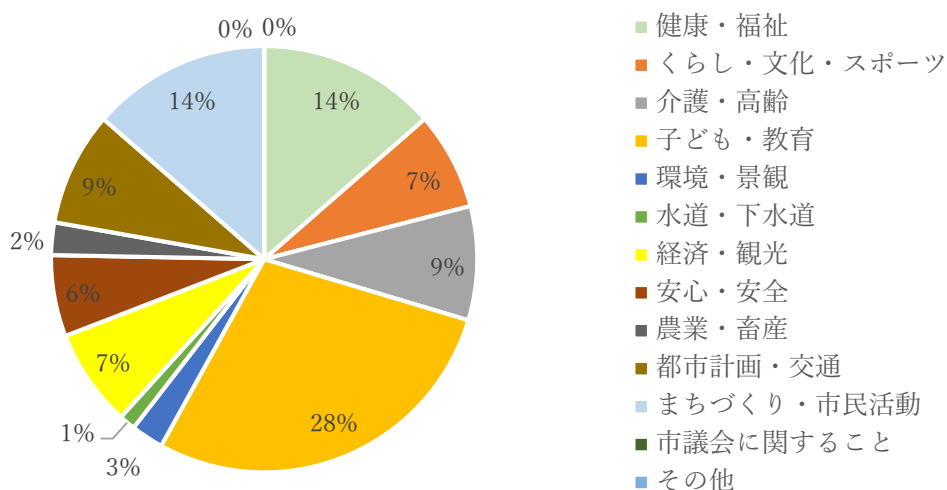
- 新たな意見が聞けました。
- 思っていたが、やはり参加者は少ない。
- 議員の熱心さがわかりました。
- 本音で話している人も多く、よかったのではないかな。
- 予想以上に活発な意見がなされて圧倒されました。もっと参加人数が多いと良いのに。
- 遠い存在と思えた議員の方の考えを聞くことができた。
- 皆さんの貴重な意見を聞けたから。
- 徐々に進化していけば良いと思う。

○満足していない理由

- 少数参加、高齢者の参加で真の意見を把握するのは無理。

問 8 今後の意見交換のテーマとしてどのような項目を希望しますか。以下から選択し、その下のカッコ内に具体的な内容をご記入ください。(複数可)

健康・福祉	1 4	安心・安全	1 0
くらし・文化・スポーツ	1 8	農業・畜産	3
介護・高齢	1 5	都市計画・交通	1 2
子ども・教育	2 1	まちづくり・市民活動	1 5
環境・景観	8	市議会に關すること	0
水道・下水道	5	その他	0
経済・観光	9		

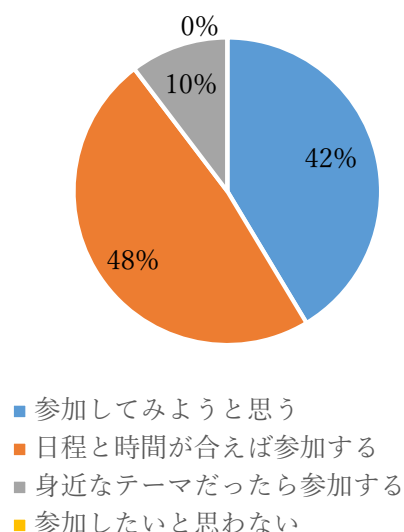


○具体的な内容

- 市民参加のまちづくりについて、いろんなアイディアが出たらよいと思う。
- 国体関連
- 子ども、教育の現状と改善
- 都市計画と交通についての今後の展望
- 課題の目標成果管理を含めた報告会であってほしい。ただし、それにはあまりにも時間が足りない。

問 9 次回も「なしおふれあいトーク」に参加してみようと思いますか。

参加してみようと思う	1 2
日程と時間が合えば参加する	1 4
身近なテーマだったら参加する	3
参加したいと思わない	0



1 0 その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等をご記入ください。

○参加者が少ないのは、市民が参加型になってない証と言います。議会、議員に関心が増加する手立てが第一の課題だと思います。

○さまざまな意見が聞け、勉強になりました。ありがとうございました。特に心に残ったことは、「医療費窓口支給」と、「働く親のための子どもの居場所」。

○開催を午前中にしてほしい。午後、主婦は忙しい。

○もっと議会が身近になってほしいと思う。

- 議会報告会、意見交換会とても良かったです。準備に時間がかかったと思います。時間制限があり、忙しい場面もありましたが、それぞれ有意義な成果が出ていたと思います。
- 初めて参加しました。まだ市民と議員の間には大きな壁があると感じる部分があります。市民が参加しやすいまちづくりがもっと進めば良いと思いました。那須塩原市に暮らす市民が笑顔になれるようこれからも市議の皆様の活動に期待しています。
- フランクな話ができとても良かったです。
- もう少し市民への告知に力を入れることをお願いします。難しい（ハードルが高い）ため参加していない市民も多いのではないのでしょうか。
Youtube で生配信したり、もっと工夫しないと市政への興味は益々薄れていく一方です。日頃より市政にご尽力いただきありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。
- 多くの市民の方の意見、市議会議員の方のお話が聞けて良かったです。
- 前向きな意見も多かったので、ぜひ協議検討していただきたい。
- 言葉だけの説明でなく、目で見てわかる資料も準備してほしい。
- 若い方も参加されていて内心びっくりしました。とても有意義な時間を過ごさせていただきました。
- 報告を読み上げるだけでなく、せっかくパワーポイントが映っているので、活用してもらいたかった。若い人の意見が聞けて良かった。
- 意見交換は活発な意見が出されて良かった。公民館の今後の在り方が分かった。
- 市議会議員も意見交換に参加してくれたので盛り上がった。
- 市民がもっと多く参加できると良いと思う。
- 廃校について、子どもが学ぶ学校としては終わりますが、今度は大人が学ぶ学校として復活できればと思います。資格取得等のスキルアップの拠点になればと思います。
- 有意義でした。
- 参加者がもう少し増えればと希望します。知らない人が多い。PTA や自治会長へも周知されては。
- 時間的に十分な話し合いはできないが、このような集会をコツコツとやっていただきたい。
- 議員の皆さんも地域の課題にアンテナをもっと張ってほしい。

令和4年6月24日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第1班 班 長 林 美幸

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年5月14日（土）午後2時～午後4時
2. 会 場 黒磯公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】

鈴木 秀信（司会者・記録）	佐藤 一則（報告者）
林 美幸（進行役）	平山 武（記録）
中村 芳隆（報告者）	堤 正明（記録）
山形 紀弘（報告者）	三本木直人（記録）
齊藤 誠之（報告者・オンライン）	
4. 参 加 者 市民12人（男性8人、女性4人）
（内訳：対面12人、オンライン：0人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
特になし

令和4年6月24日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第2班 班 長 小島 耕一

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年5月21日（土）午後1時30分～3時30分
2. 会 場 ハロープラザ
3. 担当議員と役割
【担当議員】

齋藤 寿一（司会者）	小島 耕一（進行役）
山本はるひ（報告者・議会）	相馬 剛（報告者・総合計画）
眞壁 俊郎（報告者・庁舎建設）	星野 健二（報告者・活性化、記録）
中里 康寛（オンライン）	室井 孝幸(記録)
4. 参 加 者 市民13人（男性10人、女性 3人）
(内訳：対面12人、オンライン：1人)
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
 - ・意見交換会のテーマ「分散型社会について」が市民にとってはわかりづらかった。テーマが大きすぎるため、イメージしにくく、ポストイットに書いてもらうのにも書きづらいようであった。
 - ・意見交換会のテーマを2つにしたが、時間が足りなかった。
 - ・議会報告会の時価の短くする努力が必要であった。

令和4年6月21日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第3班 班 長 森本 彰伸

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年 5月29日（日）午後2時00分～4時00分
2. 会 場 大山公民館 多目的ホール
3. 担当議員と役割

【担当議員】

星 宏子（進行役・意見交換時	益子 丈弘（司会者）
鈴木 伸彦（報告者・議会）	金子 哲也（報告者・活性化）
田村 正宏（報告者・庁舎）	松田 寛人（報告者・総合計画）
大野 恭男（オンライン）	玉野 宏（記録）
森本 彰伸（記録・報告）	

4. 参 加 者 市民13人（男性5人、女性8人）
（内訳：対面 11人、オンライン：2人）

5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり

6. 報告会の運営について

- ・オンラインの参加者の顔が他の参加者にも見えるようにディスプレイを設置した。
- ・会場のホワイトボードでタイムスケジュールを掲示した。（参加者にも時間を意識してもらうため）
- ・最後の開催だったため、オブザーブした他の班の様子を参考にできた。
- ・報告が長すぎる。意見交換にもっと時間をとってほしいと市民からの意見があった。